

令和7年9月14日

## 食料科学委員会 畜産学分科会（第26期・第7回）議事録要旨

1. 日 時 令和7年9月14日（月）11:00～12:40

2. 場 所 東海国立大学機構岐阜大学図書館会議室（岐阜市柳戸1-1）

3. 出 席 木村直子（二部会員）、栗田浩、内尾こずえ、笠嶋快周、後藤貴文、  
新村毅、平井静、松田二子、宮本庸平、山下恭広、小澤壮行（連携会員（特  
任））、菊地和弘（連携会員（特任））

### 4. 議事

木村直子委員長が以下の進行を務めた。

#### （1）定足数の確認

出席人数は定足数を満たし、分科会は成立した。新たに連携会員（特任）に就任された菊地和弘委員より、挨拶があった。

#### （2）前回（第26期・第6回）の議事録案の承認

第26期・第6回分科会の議事録要旨案を確認後、承認された。

#### （3）審議事項

##### 1) 公開シンポジウムの実施前打ち合わせ

午後より開催する第133回日本畜産学会大会での公開シンポジウム「持続可能な畜産を目指して～温暖化を防止する技術の最前線～」について、山下恭広委員より、段取りの説明があり、その後、山下恭広委員と各講演者間で、打ち合わせを行った。

##### 2) 意思の表出の作成について

後藤貴文委員より、意思の表出「(仮題)タンパク質危機を乗り越えるための畜産学の教育・研究課題－自国生産力の強化－」の骨子案についての説明があり、意見交換を行った。第26期中の発出を目指すかについて、学術会議では申出書および意思の表出草案の提出が当月9月中、審査後の発出時期は2026年3月中を目途、が推奨されていることを踏まえ、次期第27期での発出を目指し、今後、内容を詰める方向となった。

#### （3）その他

木村直子委員長より、以下について確認された。

1) 次回以降の分科会で、2026年度の公開シンポジウムについて協議する。

2) 公開シンポジウム「続・動物の繁殖の研究ってこんなに広がるの!？」は、参加者130

名程度で、事後アンケートも好評であった旨の報告があった。実施報告書は提出済み。

3) 次回の分科会の開催は、改めて日程調整する。

#### 配布資料

0. 食料科学委員会畜産学分科会（第26期・第7回）議事次第
1. 食料科学委員会畜産学分科会委員名簿
2. 資料1：食料科学委員会畜産学分科会（第26期・第6回）議事録要旨（案）
3. 資料2：公開セミナー「続・動物の繁殖の研究ってこんなに広がるの!」の実施報告書
4. 資料3：公開シンポジウム「持続可能な畜産を目指して」ポスター案
5. 資料4：意思の表出申出書たたき台（5月分科開催分科会メモ入り資料）

#### 机上配布

意思の表出「(仮題) タンパク質危機を乗り越えるための畜産学の教育・研究課題－自国生産力の強化－」の発出に当たっての状況説明、骨子案など

以上